

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和3年度
学校だより No. 20
令和3年 11月 16日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

自転車交通安全教室（スケアード・ストレイト）

11月12日（金）に、自転車交通安全教室（スケアード・ストレイト）を実施しました。（内容の詳細はVIDA vol.102をご覧ください。）

スケアード・ストレイトとは、「恐怖を直視させる」という意味で、スタントマンが生徒の目の前で交通事故を再現することにより、交通事故の衝撃や怖さを実感させ、交通ルールの必要性について、生徒自身に考える機会を持たせる教育手法です。

実施後のアンケートでは、生徒一人一人が、自分自身の、そして周りの人のかけがえのない命を守るために、考えを新たにされた様子がうかがえました。以下はアンケートの自由記述からの抜粋です。

- ・事故の怖さ、ルールの大切さを感じました。
- ・自転車事故は自分が思っていたよりも大きい事故で驚きました。
- ・車にはたくさんの死角があるので、自転車に乗っている場合は譲ったほうが良いと思いました。
- ・自分や周りの人があのような事故にあってしまったり、また起こってしまったらと思うと恐怖を感じました。
- ・自分はルールを守っているから良いだけでは事故は防げないことを感じました。
- ・友達とよく並走していたので、これが危ないと改めて分かりました。
- ・交通事故は少しの油断で起きてしまふことを知りました。
- ・雨が降っていても傘をさしてはいけないことを初めて知りました。
- ・自分も事故を起こす可能性があること知りました。
- ・何かあったらすぐに110番、119番することを知りました。
- ・最近では危機感が薄れていたため、もう一度見直そうと思いました。
- ・改めて自転車は自動車の仲間だと理解しました。
- ・自分の命は自分で守ることを胸に、気を付けていこうと思いました。
- ・ヘルメットを被るのと被らないのでは、事故の重傷度が違うと改めて分かりました。
- ・自転車は便利だけど、運転の仕方危険な乗り物になってしまうと思いました。
- ・交通ルールを守らないことで、自分だけでなく他人にも迷惑をかけることが分かりました。
- ・乗り方を間違えるだけでこんなにも恐ろしいことが起きてしまうのかと、驚きを超えて呆然としました。
- ・自分一人くらいという軽い気持ちで、自分だけでなく、人を傷つけ、最悪は人の命まで奪ってしまうので、自転車の乗り方を見直そうと思いました。
- ・トラックの内輪差など今まで意識していなかったことを知ることができて良かったです。
- ・事故は車が悪いというイメージがありましたが、車に乗らない私たち一人一人が意識することが、交通事故防止につながることを学びました。



引き渡し訓練について

過日、文書でお知らせしました通り、11月20日（土）の15：25より引き渡し訓練を実施いたします。引き渡し場所は、天候にかかわらず、各教室となりますので、よろしくお願いいたします。なお、15：40になりましたら、下校・部活動となりますのでご承知おきください。

現在、英国グラスゴーでCOP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）が開催されていますが、地球規模での平均気温上昇によって、これまで経験したことのないような豪雨や嵐による災害時等にも引き渡しは想定されます。引き渡し訓練は、本校では初めてとなりますことから、今回は引き渡しの手順について、学校と保護者の皆様が共通理解できる場にしたいと思っております。

保護者の皆様におかれましては、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

メールでお知らせしました
ミーシャです



ワーシャです